

OFF-ROAD RACER

Featuring Unique All-Wheel Steering!

PROGRESS 4-wdS

1:10 SCALE RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED

SPECIAL OFF-ROAD RACING BUGGY

4 WHEEL DRIVE & 4 WHEEL STEERING

電動ラジオコントロール レーシング バギー
四輪駆動+四輪ステアリング

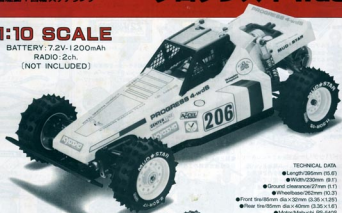
プログレス4-wdS

1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V-1200mAh

RADIO: 2ch.

(NOT INCLUDED)



TECHNICAL DATA

- Length/395mm (15.6")
- Width/230mm (9.1")
- Ground clearance/27mm (1.1")
- Wheelbase/262mm (10.3")
- Front tire/85mm dia x 32mm (3.35 x 1.25")
- Rear tire/85mm dia x 40mm (3.35 x 1.6")
- Motor/Mabuchi RS-6408
- Total weight/1640g (57.8 oz)



組立て説明書

KYOSHO
THE HATCH BACK COMPANY LIMITED

KIT No.3067

PAT. P.
INSTRUCTION MANUAL

PROGRESS 4-wds

ラジオコントロールプロポとは

このラジオコントロールモデルには2チャンネル・2サーボ・デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)メカを使用します。



2チャンネルプロポは1セット購入しておけばいろいろなかのモデルを操縦できます。(2チャンネルプロポで対応可能なもの)



ニカドバッテリーとは

正式にはニッケルカドニウム電池といい充電して繰り返し使用できる電池なので乾電池よりはるかに経済的で電圧も一定しているのど、R/Cモデルの動力用電源に最も適したバッテリーです。

当店で6N-1200バッテリーと7.2V1200ミリアンペアの電池を本通りにパックしたバッテリーです。

6N-1200バッテリーとは、1.2V1200ミリアンペアの電池を本通りにパックしたバッテリーです。

※ニカドバッテリーはR/Cカー、船などいろいろなかのモデルに使用できます。

キット以外にお求めいただくもの

(2チャンネルプロポ)

プログレス4WD Sに搭載できる受信機、サーボの大きさは特に大型でないかぎりほとんどのものが搭載できます。



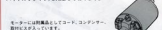
(運行用ニカドバッテリー)

このR/Cカーには当店でニカドバッテリー6N-1200又は7.2Vレーシングバッテリーが使用します。



(モーター)

プログレス4WD SにはマブタRS-540Sモーターが標準装備してありますがレーシング用にマッチングしたレーシングモーター・マン600E (汎用ハイトルクタイプ) と・ル・マン360P (ハイパワー、ハイトルクタイプ) を用意しております。



モーターには別商品としてコード、コンデンサー、配付ビスが入っています。

(ニカドバッテリー充電器)

当店のニカドバッテリーは高性能で正しく充電すれば300回以上繰り返し使用できます。充電は家庭用100Vコンセントから行なう15時間充電器と自動車の分圧ライターの2つ、12Vバッテリーから行なう15分の急速充電器の2種類があります。



(マルチチャージャー)

(10V1000mAh充電器)

マルチチャージャーは6N-1200バッテリーと7.2Vレーシングバッテリーも充電できる万能急速充電器です。



組み立てに必要な工具と接着力など

(キットに入っている工具)



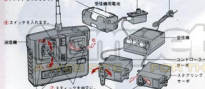
(用意する接着力)



※接着力については取扱書の説明の項にのべてあります。

プロポのチェック 番号線にラジオコントロールメカを動作してみます。

①アンテナをのばします。②電池を入れます。③スイッチを入れます。④アンテナをのばします。

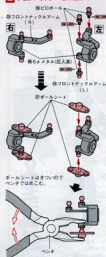


⑤トリムレバーを中央に。⑥止まっている所がニュートラルです。⑦プロポのスイッチを入れたときは送信機に入っている受信機のスイッチを入れます。切るときは先に送信機、送信機の横に切りよく切ってください。

2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機-----送信機は送信機ボックスでスティックの動きを電線でアンテナから伝えます。
- 受信機-----送信機からの電波を受けサーボに伝えます。
- サーボ-----受信機が受けた電波をモーター、光学的な装置のコントローラー部を動かす装置です。
- アンテナ-----送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものでいっしょにのび使います。
- トリムレバー-----送信機のトリムレバーはサーボの中立(ニュートラル)をずらすための、右のスティックアップ及びコントローラーの前進、バックの位置を調整するレバーです。
- レベルメーター-----送信機の電池の減り及び電流の保護状態を確認するメーターです。
- サーボ-----サーボと車のコントローラー部をつなぐもので種類があり、使用目的にあつた形状を使用します。

図1 フロントサスペンションの傾斜度



④ フロントサスペンションの取り付け

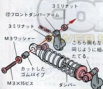
＜適用する小輪パーツ＞



ゴムパイプをちみじみに2コカットします。



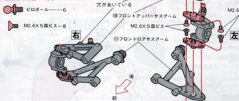
ゴムパイプがつかぬようきりリネット
のしめ方を調整します。



3 フロント・サスペンションの構造

●間違しやすいのでよく図を見ながら組み立てて下さい。

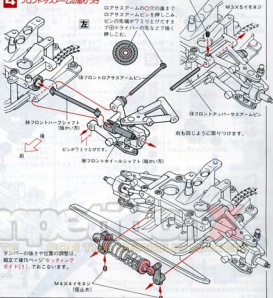
(使用する小物:テープ)



このイモネジはアッパーサスアームピンが
抜けにくい程度に強くしめる。

4 フロントサスペンションの組みつけ

はアサスアームの○穴の奥まで
はアサスアームピンを押しこみ、
ピンの先端がアミラとがさすま
で④ボライバーの先などで強く
押しこむ。 / \



7 メインシャーシの組み立て

(使用する小物パーツ)

- M2.6X6タッピングビス ー2
- M3X6ビス ー7
- M3X6タッピングビス ー3
- M3X10タッピングビス ー2
- 3ミリナット ー7

●セレクションホルダーのとりつけ位置は下図のようにして下さい。



8 リアサーボセイバーの取り付け

(使用する小物パーツ)

- ビロボール ー1
- 3ミリナット ー1
- 4ミリナット ー1
- ボールエンド ー2



●図の位置までボールエンドをねじこみます。

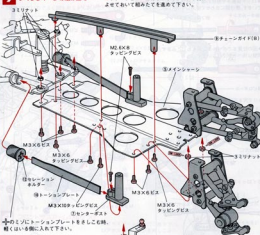


9 テックプレートの加工

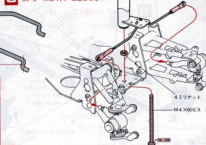
●メカプレートのサーボ割付穴は小型サーボ用にセットされているため、使用するサーボに合わせてカットします。



7 メインシャーシの組み立て



8 リアサーボセイバーの取り付け



9 テックプレートの加工



(加工順序)

①使用するサーボの寸法を計り、左図の点線位置にキリなどで寸法線を引きます。



②カッター又は角ノコギリを使って少しづつ寸法線までけずりとりして下さい。



12 プロボの動作テスト

（プロボの正しい取扱い方）

プロボの正しい取扱い方はプロボについている取扱い説明書をもとに読んで正しく取扱いして下さい。特に電池の③④の入れ間違いには注意しましょう。

（プロボ受信機の電源について）

②サーボの接続でスイッチの加工をしましたから、受信機の電源には右図のように並行用ニカドバッテリーを使用します。ニカドバッテリーは十分に充電したものでないとプロボが正しく動作しません。

スーパーニカド家庭用充電器

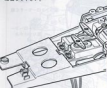


ニカドバッテリー



13 受信機の取組

●プロボが正常に動作しましたら受信機を接続して下さい。



こちら側は軸ゴムでしる。

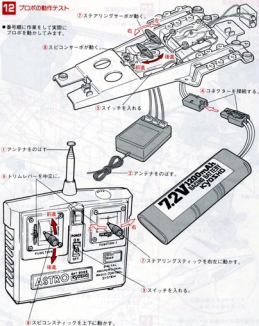
サランラップ

こちら側は折れたらむ。

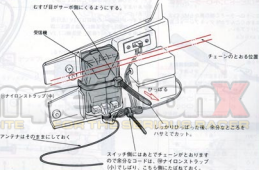
受信機は防水、防塵のためのサランラップなどに包んでおきます。

12 プロボの動作テスト

●番号順に作業をして実際にプロボを動かしてみます。

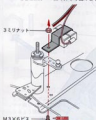


13 受信機の取組



14 テッキプレートの取り付け

●右図の作業前に確認を、メインシャシに取り付けます。
抵抗押え金具は抵抗にあわせて下のように巻きつけて下さい。



15 リアダンパーとチェーンガイド(A)の取り付け

●2本のダンパーの長さを合わせる。

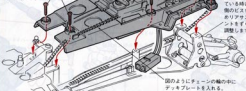


長さを合わせるにはスプリングをもちめ、ラジオペンチでほんでダンパーエンドをまわします。



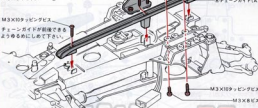
14 テッキプレートの取り付け

(使用する小物パーツ)



15 リアダンパーとチェーンガイド(A)の取り付け

(使用する小物パーツ)



16 ギヤボックスの取り付け

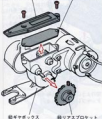
(使用する小物・パーツ)



M3X6ビス-4

●組立後のギヤボックスから下記のパーツをはずします。

旧ギヤボックスカバー 旧ギヤボックスバックギン

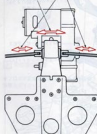


(ギヤボックスの位置決め)

●左右のスイングシャフトのガタが同じになるよう、ギヤボックスを左右に動かし調整しながら4本のビスを締めして下さい。

同じガタになるように。

ギヤボックスを揺ら。



17 リアスプロケットとギヤボックスカバーの取り付け

(使用する小物・パーツ)



4mmリナイロンナット-1

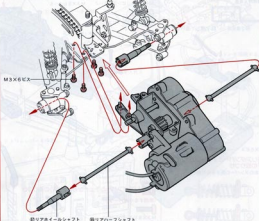
●リアスプロケットを取り付けの際は、フロントスプロケットとチェーンガイドに正しくチェーンが掛っているか確認します。

フロントスプロケット チェーンガイド



16 ギヤボックスの取り付け

(注) ギヤボックス内のピンオンギヤは、はずしてありますので95ページのスピンセッティングの後、ギヤ比の調整方法の時に取りつけて下さい。



(注) リアホイールシャフト、リアハーフシャフト、ギヤボックスを同時にセットしてからM3X6のビスで固定します。

17 リアスプロケットとギヤボックスカバーの取り付け

4mmリナイロンナット

しめすぎるとリアサーボセイバーが回転できなくなるのでスキマがなくなる程度にしめて下さい。

※ではしたM3X6ビス

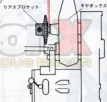
(注) リアスプロケットを取り付ける時はシャフトの中に入りこまないようラジオペンチでおさえておきます。

※ではしたM4X4イモネジ

旧リアスプロケット

リカットにネジを回わせる。

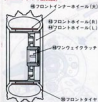
0.5ミリすきまをあげる。



21 タイヤの組立て

●前後輪は、組立て方は同じですが右図を参考に組立ててください。

(フロントタイヤ組立図)



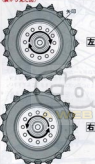
(リアタイヤ組立図)



22 タイヤの取り付け

●フロントタイヤは右左の区別がありますから注意してください。

(裏から見た図)



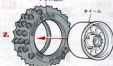
21 タイヤの組立て

インナーホイールは
つぎのように入れます。



タイヤ裏側はホイール
がはまりにくいので、
ドライバーをガイド
しながら指で押しこ
んで下さい。

マークを外側に



タイヤとホイールのスキマを指で少し広げ、
両側縁を滑らせて下さい。裏表外、全体に
通します。



(注)タイヤがついた
状態のまま押さえると
元にもどらなくなりま
すのでタイヤにはでき
るだけ力を加えないよ
うにしながら押さえて
下さい。

22 タイヤの取り付け

(リアタイヤの取り付け方)

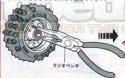


(使用する小物パーツ)



(フロントタイヤの取り付け方)

ミリングをミリングのせてラジペンでミリングと
シャフトをはさむようにしてはめて下さい。



(注)失敗するとミリングがどこかに陥んでくして
しまうことがありますので手でおいながらラジ
ペンに力を入れて下さい。



図2 モーターカバールの取り付け

●カッターラインに合わせて、ダレーの部分をカッター、ハサミなどでカットします。



カッターサイン

図2 ボディとドライバーのカット

●カッターラインに合わせて、グレーの部分をカッター、のりなどでカットします。



カッターライオン



カッターライズ



斜線部分はハサミで
取っ払います。

四 米罗·伊·伊万诺夫

プはプレス4-wireのボデーはポリカーボネートという透明のプラスチック板を半導型に成形したものでも出ています。ポリカーボデーを接続するときは裏面に塗って貼る方がきれいに接続できます。塗料の付き具合をよくするために、中性洗剤を使いよく水洗いし手あか、油などを付けないようにしてから下さい。



本書は、その

本書は、その

1995年12月

五、字音题——
本册无此题

● 中国大百科全书出版社

与患者。 2002

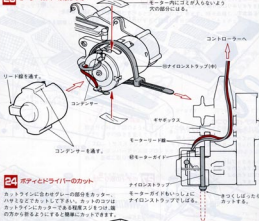
KEYWORDS

京産ポリカカラーはポリカーボネード樹脂のアクリル塗料で、丈夫かつ、やすく、色も鮮やかになっていきます。



2c モーターカバーの取り付け

デカールの透明部分をカットし、モーター内にゴミが入らないよう次の部分に貼る。



以下を繰り返す。

コンクリート

コンクリートサニタリー

608

卷一百一十五

2008年1月1日

サイロンエトラップ

モーターガイドもいっしょに
ナイロンストラップでしぼる。

24 ボディとドライバーのカット

カットラインに合わせてグレーの部分のカッター、ハサミなどでカットして下さい。カットのコブはカットラインにカッターである程度スジをつければ、指の方から折るようにすると簡単にカットできます。

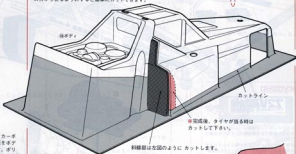


Figure 1

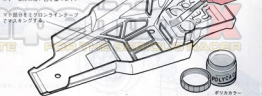
カッターライナー

●完成後、タイセが固まる時は
力をつけて下さい。

斜線部は左図のように かつしませす。

25 ボディの健康

一色塗りの時はボデー内側全体を2〜3回塗装すれば良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープやマイクロラインテープなどを色分けするラインに貼る。濃い色から塗り順番にボデー全体に薄い色を塗ります。



マド部分とミダ部分のサインタイプ

那兒有金子。

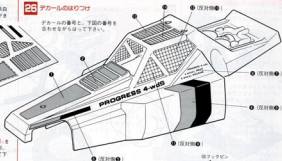
26 デカールのはりつけ

●デカールをハサミでカットします。余白を残さずギリギリに切り抜くと仕上がりきれいに出来ます。



26 デカールのはりつけ

デカールの番号と、下図の番号を
合わせるがらはって下さい。



27 ボディの取り付け

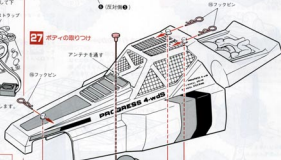
●16ページの「セッティングガイド(1)」を
おこなってからボディ、ドライバー人形、
ニカドバッテリーなどの取り付けをして下
さい。

このストラップはきつく
しぼってもこのゴッチを
押せばはずれるようにな
っています。



しぼった状態で40ミリの所でカットします。

27 ボディの取り付け



kyosho



ニカドバッテリーは電動レーシングカーの性能
を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び
下さい。

京都では特にレーシングカー用にセレクトされ
た高性能のレーシングバッテリー7.2Vを販売
しております。 No.2210

(使用する小物(パーツ))

フックビーズ

※ドライバー人形

このネットをはずして
ドライバー人形
をとめる。

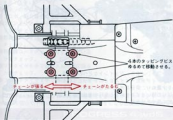
コネクタは接続後、これとアンテナと
シャーシの間に押しこんで下さい。



組み立てが完了したら必ず下記のセッティングをおこなってください。

(チェーンの調整)

フロントシャフトホルダーを前後に移動させ、チェーンの張り具合を調整して下さい。



①理想的なチェーンの張り

チェーンガイド(A)の中央付近で、チェーンを軽く持ち上げた時10ミリ程度の遊び間があるように調整すると抵抗もなくスムーズに駆動します。



②チェーンガイド(A)での調整

チェーンガイド(A)の中央のタッピングビスをまわすとチェーンの張力調整が出来ます。

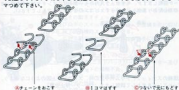


チェーンが張りすぎた時は—
回転が重くなり、パワーロスが大きくなる。

チェーンがたるみすぎた時は—
チェーンが回転中、パタパタと振動が始まります。こうなったら、チェーンの調整をして下さい。

③チェーンのびすぎた時は—

チェーンは使用していると少しずつ伸びてきます。時々点検し、①になるよう調整して下さい。のびすぎて調整しきれなくなりましたらチェーンを一新してみてください。

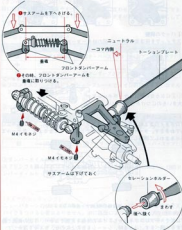


(サススプリングの調整)

粗走行の時は下図のようにスプリングの強さを調整しその後路面にあわせ、スプリングの強さを覚えて下さい。

①フロントサススプリング

フロントダンパーアームはフロントサスアームを下げた状態で図のように左右両、垂直に取り付けます。



②トーショーンプレート調整

セレクションホルダーを後方へ強く、内側へ回すと強くなり、外側へ回すと弱くなります。通常はニュートラル状態(6ページ)又は—コマ内側に調整します。

③リアスプリング



《スピコンのセッティング》

8ページ「プロポの動作テスト」と同じように3.2Vニカドバッテリーを接続し、プロポを動作させます。この時、スピコンの停止位置によっては、動力用モーターが回転しますが、ギヤボックス内のモータービニオンギヤがはずれてしまうので心配ありません。あせらずスピコンのセッティングをして下さい。



送信機のスティック、トリム共中立の時、スピコンが上図のようになるよう、ボールエンドをまわして調整します。(モーター停止位置)

①高速「ハイ」の調整

スティックを前進側に倒し、下図のようにコントローラーホーンが回転し、モーターがハイになればOK。モーターの音を聞けばロー、中スロー、ハイがわかります。



②バックの調整

スティックを後進側に倒し、下図の時モーターが回転すればOK。

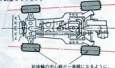


①②にならない時は、サーボホーンを大きいものにつかえて下さい。



《トーンインの調整》

プロポをそのまま動作させておき、ステアリングスティック、トリム共中立にしておきます。タイヤを接続された状態で下図のようになるよう、各ボールエンドをまわして調整して下さい。

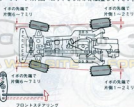


前後輪の中心線が一直線になるように。

《舵角のセッティング》

プロポでステアリングを動かし、イボの先端を定規ではかり、下図の範囲で動作するか調べます。はかるとき、シャーシを台の上にのせ、タイヤを浮かしてはかして下さい。

動きが多すぎる時はサーボホーンの内側へロッドをつけかえ調整して下さい。



《オイルの注入》

①ギヤボックスカバーをはずし、オイルを2〜3cc入れます。



時々オイルを点検し、減ってれば補充して下さい。よごれやひどい時は新しいオイルに交換します。

②シャフト、メタル、ジョイントなどへの注油は、フロンティアホビーオイルなどのサラッとしたオイルを少量ぬり、余分なオイルは布でふき取ります。なべりの強いオイルをぬると走行中足が付着し、結果的に良くありません。



③スピコンへ直接注油してはいけません。スパークの火花がオイルに引火し危険です。スピコンの動きが急に注油したい時は、フロンティアホビーオイルを布につけ、パッキンに薄くぬる程度にします。



《注油してはいけない箇所》

①サイドギヤカバー内のビニオンギヤ、アイドルギヤ、センターギヤ、カウンターギヤには絶対にオイルをぬってはいけません。ギヤにホコリや砂が付着し、歯が破損することがあります。

②チェーン、スプロケットにもオイルをぬってはいけません。ホコリが付着すると動きが固くなり、破綻がふえてしまいます。

《ギヤ比の調整》

モーターギョイドのビスもゆるめる

サイドギヤカバーをはずす



各部のアタリがでるまで低速用の特ビニオンギヤ14Tを、取りつけて下さい。

バックラッシュ(ギヤのカタ)の調整は、少しすぎまもなくようモーターを前進させます。減りましたらモーター止めビスとモーターギョイド側のビスをしめつけます。ギヤ比交換の時も同様におこなって下さい。



《ギヤ比早見表》

ビニオンギヤ×アイドルギヤ	ギヤ比	用 途
14T X No.1	9.47 : 1	加速を良くしたい時、走行時間を長くしたい時、路面状況が大きい時(泥、草地など)
14T X No.1	9.94 : 1	スピードをだしたい時、路面状況が小さい時(硬い土など)
14T X No.2	8.80 : 1	スピードをだしたい時、路面状況が小さい時(硬い土など)
15T X No.3	8.55 : 1	スピードをだしたい時、路面状況が小さい時(硬い土など)
15T X No.2	8.21 : 1	スピードをだしたい時、路面状況が小さい時(硬い土など)

★走行時間とギヤ比の関係は8.21 : 1が一番走行時間が短く、9.47 : 1が一番長くなります。

【走行前の点検、チェック】

走行の前に右の写真の番号順にチェックして下さい。

★初走行の時、ニカド電池1パック位の時間はゆっくりと走らせ、各部の動きを見て下さい。

- ①各部のゆるみがないかをチェック。
- ②プロポ、動力電池の容量をチェック。
- ③フロントリブタイヤがプロポ通りに動くかをチェック。
- ④前進、バックがプロポ通りに動くかをチェック。
- ⑤各配線コードがしっかりとされているかをチェック。
- ⑥リアタイヤを手で回しスムーズに回るかをチェック。
- ⑦フロントタイヤを手で回し、ロックと空転をチェック。

★プロポレス4-wdsはプロポ用受信機電池を走行用ニカドバッテリーから取っています。車が走行中スピードが落ちてきたら、すぐに車を手元にもどしスイッチを切して下さい。走行用バッテリーがなくなると受信機に電気がいかなくなり車がノーコン(暴走)になります。

PROGRESS 4-wds セッティングガイド(2) (走行セッティング)

【直進性のセッティング】



- ①ステアリング操作しないのに左右にフラフラする時は…
 - トーンをチェック、少し増してあげる。
 - リンケージのガタをチェック、ガタが多すぎたり、逆に動きがしづらいものもよくない。
- ②直進している時、少し操作しただけで急に方向が変わったり、スピンしそうな時は…

- 前後の舵角をチェック、舵角をもっとへらす。
- リンケージのガタをチェック、特にリンケージの動きがしづいれと舵が回るのに注意する。

【コーナリングのセッティング】



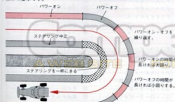
- ①コーナで思ったより曲りすぎたり、スピンしたりする時は…
 - 前後の舵角をチェック、舵角をもっとへらす。
- ②コーナでふくらんでしまう時は…

アクセルコントロールでコーナをまがる練習をする。

アクセルコントロールをマスターしたら少しずつ舵角を増してみる。

【アクセルコントロールのしかた】

ステアリングを一回に回し、パワーのオン・オフを繰り返すことで小回りさせたり、大回りさせたりすることをアクセルコントロールといい、コーナリング操作の基本です。



【走行の際の順番】

- ①プロポ、走行用電池を入れる。
 - ②送信機のスイッチを入れる。
 - ③受信機のスイッチを入れる。
 - ④プロポのスティックを右・左・前進・バック操作しその動きをチェックする。
 - ★プロポのスイッチを切る時は、受信機を先に切り、後で送信機のスイッチを切る。
- この手順を覚えておくとモデルが勝手に走ったり、暴走することがあります。

【動かない時のチェック】

- ①走行用電源(ニカドバッテリー)のコンタクト及び各配線コードの接触不良。
- ②コントロールの接触不良。
- ③プロポの故障。
- ④他の電波の干渉。

【ダンパーとサススプリングの調整】

特に凹凸のはげしい路面やすべりやすい路面に合わせてセッティングして下さい。下の表は操縦者の感覚などにより差がありますが目安として参考にして下さい。

①フロントスプリングの値

スプリングの値	直進性	高速コーナ	低速コーナ
強	○(すべる路面△)	△(固オーバーステア)	△(固アンダーステア)
中	○	○	○
弱	○(凹凸ではX)	△(固アンダーステア)	△(固オーバーステア)

★フロントスプリングは、トーションプレートでメインの調整をし、コイルスプリングで微調整します。

②リアスプリングの値

スプリングの値	直進性	高速コーナ	低速コーナ
強	○(すべる路面△)	△(固オーバーステア)	△(固アンダーステア)
中	○	○	○
弱	○(凹凸ではX)	△(固アンダーステア)	△(固オーバーステア)

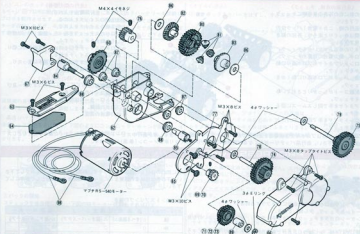
③ダンパーオイルの硬さはスプリングを硬くすればオイルも硬目にします。硬目のオイルは「No. 1880 ダンパーオイルセット」を使用して下さい。

【タイヤのセッティング】

ニューパターンMUD STARタイヤは強力なグリップ力がありますのでスパイクをつける必要はありません。逆に路面によってはグリップ力が強すぎて急ぐ感じたり走行時間が短くなる場合があります。そんな時はパターンをニッパーなどで落とす方法もあります。



★MUD STARタイヤはパターンは先端がとがっていますのでコンクリートやアスファルトの上で走行させると、バッテリー1パックで先端のイボがへってしまいますので注意して下さい。



パーツリスト

①	部品名称	数量	②	部品名称	数量	③	部品名称	数量	④	部品名称	数量	
①	フロントバンパー	1	33	ダンパーケース	3	41	ギヤボックスカバー	1	51	コントローラースプリング	1	
②	フロントヘッド	1	34	ダンパーストッパー	3	42	ギヤボックスバックシン	1	52	コントローラー押入金具	1	
③	フロントベース	1	35	ダンパーOリング	3	43	モーターマウント	1	53	調整点	2	
④	フロントシャフトホルダー	1	36	ダンパーワッシャー	3	44	サイドギヤカバー	1	54	バッテリーコネクタ	1	
⑤	メインシャシ	1	37	ダンパーピストン	3	45	モーターガイド	1	55	モーターリード線	2	
⑥	デッキプレート	1	38	スプリング	3	46	モーターカバー	1	56	2連抵抗	1	
⑦	センターポスト	2	39	スプリングストッパー	3	47	ビニオンギヤ(34T)	1	57	抵抗押入金具	1	
⑧	チェーンガイド(A)	1	40	スプリングアジャスター	3	48	+	(35T)	1	58	ラジエター	3
⑨	+	(B)	41	ダンパーエンド	3	49	アイドルギヤ(1)	1	59	フロントサーボセイバ	1	
10	フロントアッパーサスアーム	2	42	ダンパーボール	2	50	+	(2)	1	60	リアサーボセイバ	1
11	フロントロアサスアーム	2	43	ダンパーゴムパイプ	1	51	+	(3)	1	61	フロントタイロッド	2
12	セレクションホルダー	2	44	フロントホイール(R)	1	52	センターギヤ	1	62	リアタイロッド	2	
13	ナックルロッパー(R)	1	45	フロントホイール(L)	1	53	カウンタギヤ	1	63	ボールエンド	7	
14	+	(L)	46	リアホイール	2	54	ファイナルビニオンギヤ	1	64	フロントスタアリングロッド	1	
15	フロントアッパーサスアームピン	2	47	フロントインナーホイール	2	55	アイドルシャフト	1	65	リアスタアリングロッド	1	
16	フロントロアサスアームピン	2	48	リアインナーホイール	2	56	センターシャフト	1	66	スビコジョイント	1	
17	トーションプレート	2	49	フリューイクラッパ	2	57	カウンタシャフト	1	67	ナイロントラップ(小)	6	
18	リアサスマウント	2	50	ホイールワッシャー	2	58	デフスパーギヤ	1	68	+	(中)	2
19	リアサスアーム(R)	2	51	フロントタイヤ	2	59	デフベベルギヤ	3	69	ニカドトラップ	2	
20	+	(L)	52	リアタイヤ	2	60	デフサイドギヤ(A)	1	70	ロールバー	1	
21	リアサスアームカウ	4	53	フロントセンターシャフト	1	61	+	(B)	1	71	ボディフォーク	1
22	フロントナックルアーム(R)	1	54	フロントジョイント	1	62	デフジョイント(A)	1	72	フックピン	3	
23	+	(L)	55	フロントドライブシャフト	2	63	+	(B)	1	73	ボディ	1
24	リアナックルアーム(R)	1	56	リアハブシャフト	2	64	デフスパー	2	74	ドライバー人形	1	
25	+	(L)	57	フロントホイールシャフト	2	65	ギヤメタル	6	75	アンテナ	1	
26	ボールジョイント	6	58	リアホイールシャフト	2	66	ギヤメタル	10	76	アンテナトップ	1	
27	ビロボール	15	59	ギヤメタル	2	67	アイドルギヤメタル	1	77	アンテナボトム	1	
28	ダンパーアーム(R)	1	60	フロントスプロケット	1	68	コントロールP-C板	1	78	アンテナボトム	1	
29	+	(L)	61	リアスプロケット	1	69	コントロールホーン	1	79	オイル	1	
30	リアダンパーピン	2	62	ラダーチェーン	1	70	コントロールピストン	1	80	調整ホルダー	2	
31	リアダンパーピン	2	63	ギヤボックス	1	71	コントロールナット	1	81	デカル	1	

下記の品番、部品名、内容と18ページのパーツリストの品番を確認し、キットをお買求めいただいた機材店で品番(例、P.G-8)を書いてお求め下さい。近くに機材店がなく入手できないときは「京商サービス部」へ部品代に送料を加え(部品代¥1000以内の場合は切手、それ以上は現金書留)品番明記の上、直接申し込み下さい。尚、2品以上お求めの方は、品番の中で一番高い料金のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいた日からお届けできるまで早くとも10日位かかりますので御了承下さい。

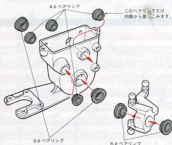
●尚、表示の送料は昭和59年10月15日現在のもので価格改正にともない変更になる場合がありますので御了承下さい。

品 番	部 品 名	内 容	キ ャ ー ト	定 価	送 料
P.G-1	フロントバンパー	(1)X1		300	70
P.G-2	フロントヘッドベースセット	(2)(3)各1		600	240
P.G-3	メインシャーシ	(5)X1		750	120
P.G-4	デッキプレート	(6)X1		600	130
P.G-5	サスアームセット	(8)(9)(10)各2		600	120
P.G-6	サスアームピン&スライダーセット	(15)(16)各2 部X4		350	70
P.G-7	リアサスマウント	(19)X2		500	110
P.G-8	オールシート	(27)X8		250	70
P.G-9	ビロボール	(28)X10		300	70
P.G-10	フロントリヤルアームセット	(31)各1 部X4(圧入済)		600	120
P.G-11	リアリヤルアームセット	(32)各1 部X4(圧入済)		600	120
P.G-12	リヤルスプリングセット	(33)各1		200	120
P.G-13	トーションプレート&センターポスト	(7)各2		400	120
P.G-14	オイルダンパー	(35)(36)(37)各2(組立済)		1,200	120
P.G-15	ダンパースプリングセット	(37)(38)(39)各2		250	120
P.G-16	フロントダンパーアーム	(40)X1 (1)X2		250	70
P.G-17	リアダンパーアーム	(41)(42)各1 (3)X2		400	120
P.G-18	フロントホイール(ワンウェイアクスル入)	(43)(44)各1 部各2		1,600	120
P.G-19	リアホイール	(45)(46)各2		450	120
P.G-20	ホイールスッターセット	(47)(48)各2&リング付		200	70
P.G-21	MUD STAR フロントタイヤ	(49)X2		1,000	170
P.G-22	MUD STAR リアタイヤ	(50)X2		1,200	170
P.G-23	フロントホイールシャフト	(51)X2		500	120
P.G-24	リアホイールシャフト	(52)X2		500	120
P.G-25	フロントハーフシャフト	(53)X2		600	120
P.G-26	リアハーフシャフト	(54)X2		600	120
P.G-27	フロントジョイント&スプロケット	(55)(56)各1		650	120
P.G-28	ラダーチェーン	(57)X1		800	120
P.G-29	チェーンガイドセット	(58)(59)各1		300	120
P.G-30	ギヤボックスケース	(60)(61)各1 部X4 部X2(圧入済)		1,000	240
P.G-31	ギヤケーシング	(62)(63)各1		400	120
P.G-32	ギヤセット(高)	(64)(65)(66)各1		600	120
P.G-33	ギヤセット(低)	(67)(68)(69)各1		500	120
P.G-34	デフギヤセット	(70)(71)各1 部X3 部X2		600	120
P.G-35	デフジョイントセット	(72)(73)各1		500	120
P.G-36	サイドギヤカバー	(74)(75)各1		300	120
P.G-37	ギヤケーシング	(76)X1(ボリカーボ製)		300	120
P.G-38	4本メタル	(77)X10		600	70
P.G-39	6本メタル	(78)X10		600	70
P.G-40	スビードコントロールユニット	(79)(80)(81)(82)各1 部各2		1,200	120
P.G-41	コントロールローPC板(ダイオード付)	(83)X1 部X2		500	70
P.G-42	駆動軸セット	(84)X4 部X2		300	70
P.G-43	コネクターリード線セット	(85)(86)各1 部X2		500	120
P.G-44	フロントサスペンション	(87)X1		400	120
P.G-45	リアサスペンション	(88)X1		400	120
P.G-46	タイロッドセット	(89)(90)各2 部各2		400	70
P.G-47	リンカーセット	(91)(92)各1 部各2		300	70
P.G-48	ギヤボックス&ローラー	(93)(94)各1		200	120
P.G-49	ビスセット	ビス、ナット、六角レンチ等		700	120
P.G-50	デカル(プロダクション4-400)	(95)X1		300	120
P.G-51	ボディー&タイヤ入型	(96)(97)各1(ボリカーボ製)		2,300	240
P.G-52	ナイロントラップ付	(98)X6		180	70
P.G-53	ナイロントラップ付	(99)X6		300	70
P.G-54	ボディー&タイヤ入型	(100)X6		400	70
P.G-55	フックピン	(101)X5		700	70
1880	タイヤ&オイルセット	ハードタイプ2、ソフトタイプ2種入		500	240
1885	アンテナセット	(102)(103)各1		700	120
P.G-56	9速減速機	(104)X1		300	120

A WEBSITE FOR THE SERIOUS RACER

〈ベアリングの交換〉

ギヤボックスやニールシャフトの軸受には、メタルが使用してあります。より性能を上げるにはベアリングに交換します。



〈ル・マンモーターの交換〉

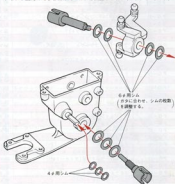


プロダレスに最適なル・マンレーシングモーターは下の表になります。なりでもル・マン360PTは1クラス大型のモーターで負荷の大きな電動パターに最適で、スピード、走行時間、共にアップします。

品番	ル・マンモーターの種類	マッチング	定価
1893	240 S	不通	4,000円
1891	480 S	可	4,000円
1892	480 T	可	4,000円
1894	600 E	可	1,980円
1895	360 P T	最適	4,900円

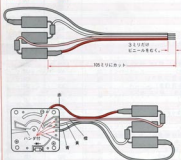
〈ベアリング周シムセットの使い方〉

ベアリング使用の時など軸方向のガタを調整するシム(ワッシャー)です。



★デフ調整用のシムもセットに入っています。

〈4連用抵抗 (SC-80) 配線図〉



品番	商品名	内容	定価	送料
CK-63	4φベアリング(2ヶ入)	前4φメタルと交換	1,800	70
MS-26	6φベアリング(2ヶ入)	前6φメタルと交換	2,300	70
SC-80	4連用抵抗	前進4速、ブレーキ2段。バック付になります。	490	120
SC-78	アクセルリセット	ボディのアクセルリセット	800	120
CBP124	ギンチャクブーテ	スライダーの応用部品	390	120
1883	プロダレスニールシャフト	デフロック機構消滅、軸受などは使用	1,500	240
PG-63	ベアリング周シムセット	4φ、6φ、デフ調整の調整シムです	600	70

A WEB SITE FOR THE SERIOUS RACER